

令和6年度川越市立大東西小学校 学校だより 10月号 令和6年10月1日

【目指す学校像】「自ら目標に向かって努力し、共に支えあう学校」

- ・明るく
- ・元気に
- ・美しく



おおぞら

校外学習で発揮する子供たちの力

校長 堀口 雪子



秋の訪れを知らせてくれるかのように、朝夕は涼しい風が吹き、虫の声が聞こえます。

9月は、各学年の校外学習や出前授業、地域の施設見学が実施されました。校外学習も学校行事の一つで、★仲間と協力すること★自分からよりよいものにしていこう ★自分の目標に向かって努力すること の3つのねらいに向けて取り組んでいます。校外学習のよさは何と言っても体験活動です。自分の目で見て体験して感じることはとても大切です。

私が引率した修学旅行では、学年のテーマ「感謝を忘れず、絆を深め、最高の思い出を作ろう」「自ら学び、新しい発見をしよう」に沿って、自分のめあてを立てて取り組みました。「班長としてみんなに声かけをする」や「旅館の人やガイドさんたちに元気にあいさつをする」「積極的に話しかけて友達のよいところを見つける」など自分のこうしたいという思いをしっかりとっていたからこそ、実りの多い修学旅行となりました。なかでも、大きな集団での行動では「話を聞く時間だよ。静かにしよう。」の声が聞こえたり、バスの中ではバスレク担当の友達に協力して楽しく過ごそうとしたりするなど、自分たちの修学旅行を自分たちの力でよいものにしようとする姿がとても嬉しかったです。修学旅行で学んだ力を今後どのように学校生活に活かしていくかが楽しみです。

また、学校での学びが学校の外でも発揮できてこそ、本物の力です。あいさつや言葉づかい、時間を守る、人の話をだまって聞くなど修学旅行では6年間の学校生活で学んだことがよく活かされていました。

夏休みに行われた5年生の林間学校を初め、1年生のこども動物自然公園への生活科見学、2年生の森林公園への生活科見学、3年生のスーパー見学、4年生のピースキャラバン(平和学習)による出前授業でも本校の児童は、見たり聞いたり触ってみたりとよく学び、関わっていただいた方への感謝や初めて知ったことへの驚きを言葉にするなど自分たちのよさを発揮していました。

さあ、いよいよ運動会練習が本格的に始まります。運動会の学びは当日だけではありません。そのために、大東西小では運動会に向けて次のように取り組んでいます。



- ・子供一人一人が自分のめあてをもつ。
- ・子供たちが役割(子供たちに任せて考えさせ、頑張らせる部分)をもつ。
- ・友達や異年齢の学年との関わり(応援合戦の練習など)をもつ。
- ・自分を振り返り、自分の成長を実感する。

「学校行事はその学校の文化を創る」と言われています。大東西小の学校教育目標を達成するにはどうしたらよいかを子供たちと共に考え、本校ならではの活動に取り組んでいます。